

ヨシキタ! まかせろ! 一発除草!!



省力的な田植同時散布に最適!! 移植直後からノビエ1.5葉期までの湛水散布も可能です。



便利な4kg袋も
あります。

専用の散布機を使って田植同時散布を行ってください。

**SU抵抗性^{*}雑草をはじめ幅広い雑草に
しっかり効く!!**

*SU抵抗性とはスルホニルウレア系除草剤抵抗性を示します。



クログワイ



ホタルイ



コナギ



ノビエ



コウキヤガラ



シズイ

40~50日程度の長い効き目!!

効果が長く続くので、遅れて発生する雑草も
しっかり抑えます。



薬剤処理43日後の効果



新 水稲用一発処理除草剤

ヨシキタ[®] 1kg粒剤

ヨシキタは住友化学(株)の登録商標 農林水産省登録 第21829号

ヨシキタ® 1キロ粒剤

有効成分および含有率	
イマズスルフロンの含有率	0.90%
プロモブチドの含有率	9.0%
ペントキサゾンの含有率	3.9%



ホタルイ等に
効果の高い
プロモブチド
配合

田植同時散布のメリット

- ① 田植と除草剤散布を同時に行う、最も省力的な散布方法です。
- ② 田植同時散布なので、除草剤をまき遅れる心配がありません。
- ③ 機械を使った均一散布により、安定した除草効果を得られます。

移植直後からノビエ1.5葉期までの湛水散布も可能です。

■ 適用と使用方法 2012年10月現在の適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道、東北) シズイ(東北) クログワイ (東北・関東・東山・東海・近畿・中国・四国・九州) オモダカ(東北・関東・東山・東海) コウキヤガラ (関東・東山・東海・近畿・中国・四国・九州) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離 (近畿・中国・四国を除く)	移植時	砂壤土～埴土	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で 施用	全域の普通期 及び 早期栽培地帯
		移植直後～ ノビエ1.5葉期 ただし、 移植後30日まで				湛水散布	

**早めの散布が
オススメ!**

イマズスルフロンを含む 農業の総使用回数	2回以内
プロモブチドを含む 農業の総使用回数	2回以内
ペントキサゾンを含む 農業の総使用回数	2回以内

■ 主要雑草に対する散布適期

ノビエ	1.5葉期まで	クログワイ	発生初期まで	ヒルムシロ	発生期まで
ホタルイ	発生初期まで	ミスガヤツリ	発生初期まで	セリ	再生前～再生初期まで
ウリカワ	発生初期まで	コウキヤガラ	発生初期まで	シズイ	草丈3cmまで
ヘラオモダカ	発生初期まで	オモダカ	発生初期まで	アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

田植同時散布での 上手な使い方

散布量
10a当り
1kg(1袋)

※散布量の調整については各散布機の取扱説明書をご覧ください。ご購入になった農機具店にお問い合わせ下さい。
※実際の散布にあたっては散布量の微調整が必要です。

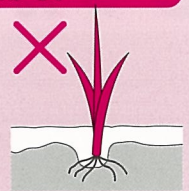
1 均平化作業・植付けはていねいに

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になります。



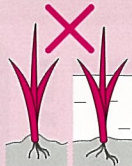
2 極端に土のもどりが悪い水田では使用をさける。

移植後の根が露出していると、薬剤が直接根に触れ薬害の危険があります。



3 田植同時処理はひとひたの浅水で!

- ① 水がない状態では薬剤の拡散が悪く、効果不良・薬害の原因になります。
- ② 苗が水没するような深水もさけてください。苗の活着が悪く生育抑制の原因となります。



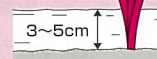
4 移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根部が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



5 移植後は速やかに入水を!

移植後は速やかに水深3～5cmになるよう入水してください。



入水後は止水し、3～5日間は通常の湛水状態を保ち、7日間は落水、かけ流しはしないでください。



【使用上の注意事項】

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに、時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生する恐れがあるので使用はさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ② 軟弱な苗を移植した水田。
 - ③ 極端な浅植の水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業及び植付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布田の田面水を他作物に湛水しないようにしてください。
- 殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 眼に対して軽度の刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空袋は圃場等に放置せず適切に処理してください。